

小学校低学年は、生活習慣や家庭学習習慣を身に付けるスタートラインです。

☆おうちの方へ ～この時期の子どもは～

- ・がんばったこと、よいところを大人にほめてほしいと思っています。
- ・何にでも興味をもち、知りたがります。
- ・一人で学習することや、やり方を決めるのは、まだ難しいです。
- ・まだ自分中心で、周りの人のことを考えて行動できないときもあります。

◎勉強やお手伝いを習慣づけましょう

勉強やお手伝いをして家族からほめられたり、家族が喜ぶ顔を見たりして、子どもは、家族の役に立ったことや自分の成長を実感し、学ぶことやお手伝いをすることに喜びを感じます。その喜びが、次もやってみようという意欲につながります。まずは、子どものそばについて、子どもの頑張りを認めたりほめたりして、子どもの意欲を高め、習慣となるようにしましょう。



◆家庭でしてほしいこと◆

- 学習するときは、身の回りの整理整頓をさせましょう。
- 学校からのプリントや宿題は、保護者が一緒に確かめましょう。
- 学習時間や、何時までに学習を終えるのか目標を立てさせましょう。
- 正しい姿勢や正しい鉛筆の持ち方に注意しましょう。
- 基本的な生活習慣が身に付くと、学習の習慣も身に付きます。
- テレビを消したりゲームをやめたりして、集中して学習できる環境を整えてください。

☆子どもたちへ

きまったじかんに、つくえにむかって、しゅくだいをするくせをつけましょう。

◎かならずやりましょう。

- しゅくだいをする。
- えんぴつをけずる。
- あしたのじゅんびをする。



◎まいにち すこしずつ つづけましょう。

- れんしゅうする。
(ひらがな・カタカナ・かんじ・おんどく
けいさん)
- ほんをよむ。
- にっきをかく。
- うんどうをする。
- かんさつをする。
- おうちのしごとをする。



◆こんなことをしてみよう。【家庭学習（自主勉強）の内容】

<p>こくご 国語</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・習った漢字を筆順や送り仮名に気を付けながら、ゆっくり正しくていねいに書きましょう。 ・大きな声で、はっきりと国語の本を読みましょう。 ・その日あったことを、「だれが」「どんなようすで」「どうした」が、わかるように書いてみましょう。
<p>さんすう 算数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算カードで、たし算・ひき算・かけ算をしましょう。 ・身の回りのものから、たし算やひき算の文章問題を作ってみましょう。 ・時計（アナログ）をみて、何時何分か読んでみましょう。
<p>どくしょ 読書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな本を10分間読みましょう。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花や野菜、虫や生き物を育ててみましょう。 ・家の人と相談して、自分ができる仕事を見つけてやってみましょう。 ・次の日の学校の準備を、家の人と一緒にしましょう。

